**田尻総合支所新庁舎が完成 2月10日供用開始します**

　　田尻総合支所の新庁舎が令和元年12月に完成し、いよいよ2月10日 8時30分から供用を開始します。

　延床面積約１，２２５㎡、木造平屋建ての内壁や柱などには、大崎市産の木材を約98％（うち田尻地域産約38％）使用し、木材の優しい香りとあたたかみ溢れる空間となりました。

歴史・文化・自然を発信

　新しい田尻総合支所には、平成29年に大崎市で初めて国の重要文化財に指定された「木造千手観音坐像」と、脇侍２躯（木造不動明王立像、木造毘沙門天立像）を、10月ごろから収蔵します。

　千手観音坐像は、明治初期に廃寺となった小松寺（田尻小松地区）の本尊として伝来し、12世紀後半に平泉（岩手県）の寺院で造仏に携わった仏師が製造したと考えられています。地域の皆さんから、「地域の宝は地域内で守りたい」との声をいただき、新庁舎への収蔵が決まりました。

　市役所などの行政庁舎の中に重要文化財の仏像が収蔵・展示されるのは、全国的にも初めてのケースです。地域を見守る観音坐像を、すぐそばで感じることができます。

地域のランドマークへ

　庁舎内には、防災拠点としての機能を備え、世界農業遺産「大崎耕土」やラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」、田尻地域の文化財を紹介する田尻歴史展示室、情報発信室を設け、文化・歴史を次世代につないでいきます。

　待ち望まれた新庁舎が安全・安心な地域を形成し、田尻地域の新しいランドマークとして皆さんに愛されるよう、今後活用していきます。

**施設概要**

建設地　大崎市田尻沼部字富岡183-3

構造　木造（一部鉄筋コンクリート造）平屋建て

敷地面積　約4,776㎡

延床面積　約1,225㎡

駐車場　58台（うち車椅子利用者用駐車場2台）

**完成内覧会**

日時　1月18日19日　9時～16時

場所　田尻総合支所新庁舎（田尻沼部字富岡）

※申し込みの必要はありません。

**開庁式・窓口業務開始**

日時　2月10日　8時30分～（開庁式は8時予定）

※木造千手観音坐像の収蔵は、収蔵庫内の環境調査の結果により、10月ごろを予定しています。